

## 学生の学習時間を増やす工夫を

01

教学部長：菊池 重雄先生

すでに新聞等で報道されていますように日本の大学生の学習時間、特に、自学自習時間の少なさが問題になっています。本学の『学生生活実態調査報告〈2002～2010年度〉』\*によれば、2010年度の数字として、一日あたりのキャンパス滞在時間について5時間50分以下の学生が7割（3時間50分以下の学生が約2割）を占める一方で、自宅学習時間については1時間50分以下と答えている学生が約9割（50分以下の学生が5割）にも達します。同報告の中では、課外活動や交友時間、通学時間、学外活動時間、さらには睡眠時間に至るまで調査されていますので、すべてを勘案すると、一日当たりの自学自習時間が1時間程度もしくはそれ以下という学生が大半であると想像されます。ちなみに、これは日本の一般的な大学生の自学自習時間とほぼ同じ数字です。学生のコンピテンシー開発の観点からも、学習時間確保に向けた取り組みとして、自学自習の時間をいかに増やすかが、大学に課せられた新たな使命になりつつあります。



今回新たにバージョンアップされる Blackboard@Tamagawa は、教員にとって最良の教育ツールになる可能性を秘めています。従来の機能の便利さはそのままに、〈Wiki〉〈ブログ〉〈日誌〉等の新しく加わった機能は、学生が自分のペースで自学自習するにあたっての有力な武器になります。もっとはっきりいえば、授業が学習の中心ではなく、自学自習こそが本来の学習の姿であり、授業は常に自学自習を補うものであるということを、Blackboard@Tamagawa は改めて私たち教員におしえてくれるように思います。

教員一人ひとりが Blackboard@Tamagawa を活用し、授業改善に努め、学生の学習時間の確保に全力を挙げていただけることを期待します。

\*玉川大学 教育研究等点検調査委員会〈学生生活関係専門分科会〉編

### ◆ e エデュケーションセンターより

Blackboard@Tamagawa（以下 Bb）は、MyPC とインターネット環境を利用して、いつでも・どこからでも学生自身が自分の時間を有効に利用して自学自習ができる Web アプリケーションです。

講義資料や参考資料等の事前掲載によって学生の予習・復習に役立たせたり、その他様々な機能を使い、従来型の講義形式の授業から、学生が自ら積極的に参加する授業が展開できます。

次期バージョンでは、教員と学生や学生間のコミュニケーションの機能が大幅に強化され、学生の時間外の学習機会を提供する最適なツールへと進化しています。ぜひご確認の上ご活用ください。

# Blackboard@Tamagawa バージョンアップのお知らせ

見やすく、使いやすく。Blackboard@Tamagawa が新しく。

## ◆ Blackboard@Tamagawa バージョンアップの概要

- 操作体系を一新  
GUI(Graphical User Interface) を改善し、より簡単な操作に。
- 新しい機能の追加  
「ブログ」「日誌」「Wiki」を追加し、学生とのコミュニケーションをより密接に。
- 既存の機能の強化  
ワーキンググループ一括での採点が可能になるなど、既存の機能を強化。

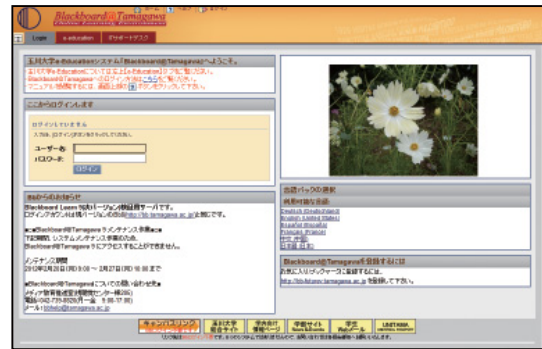


図 1. Blackboard@Tamagawa ログイン画面

※掲載の Bb の画像は開発中のものです。

## 試用コースのご案内とログイン方法

### ◆ 試用コースについて

現在、次期バージョンを体験していただくための試用コースを開設しています。自由にご使用いただけますので、9月の次期バージョン本稼働の前に操作方法や新機能をぜひご確認ください。

試用コースへのアクセスは現行バージョンの Bb の MyPage 上のリンクをご使用ください。(下図参照) なお、ユーザー名、パスワードは現バージョンにて使用の Bb のログイン情報と共通です。

### ◆ 教員向け操作説明について

操作説明は随時受け付けております。詳細は Bb、メール等にてご案内いたします。



図 2. Bb 次期バージョンへのリンク

# 04

## 既存の機能について

### ◆ 前年度コースの閲覧について

前年度に作成していただいたコースは次期バージョンでも閲覧できます。また、コースコピーに  
関しても従来と同様の操作方法で行うことができます。



図 3. 指導中コース (現行バージョン)



図 4. 指導中コース (次期バージョン)

### ◆ MyPage

現行バージョンの使いやすさを損うことなく、MyPage のレイアウトを変更しました。アナン  
スやタブなどの位置が変更され、より快適な操作を実現しています。



図 5. MyPage (現行バージョン)



図 6. MyPage (次期バージョン)

### ◆ コントロールパネル

現行バージョンではコントロールパネルは別ページに表示されておりましたが、次期バージョン  
ではコントロールパネルがコース画面上に表示されるようになりました。また、コンテンツ領域か  
ら直接資料掲載やツールの設定が出来るようになり、より素早く直感的な操作が可能になりました。



図 7. コントロールパネル (現行バージョン)

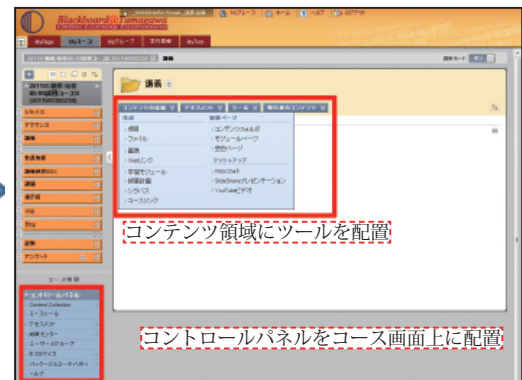


図 8. コンテンツ画面 (次期バージョン)

05

# 新しい機能について

## ◆ ブログ

ブログはインターネットにおける簡易的なホームページのことで、その日に起きたことなどを日記形式で書き込み、一般に公開することができます。

Bbにおけるブログは開設したコースの受講者が他の受講者ならびに担当教員に対して文章を公開し、感想や反応を集めることができます。



図9. ブログ

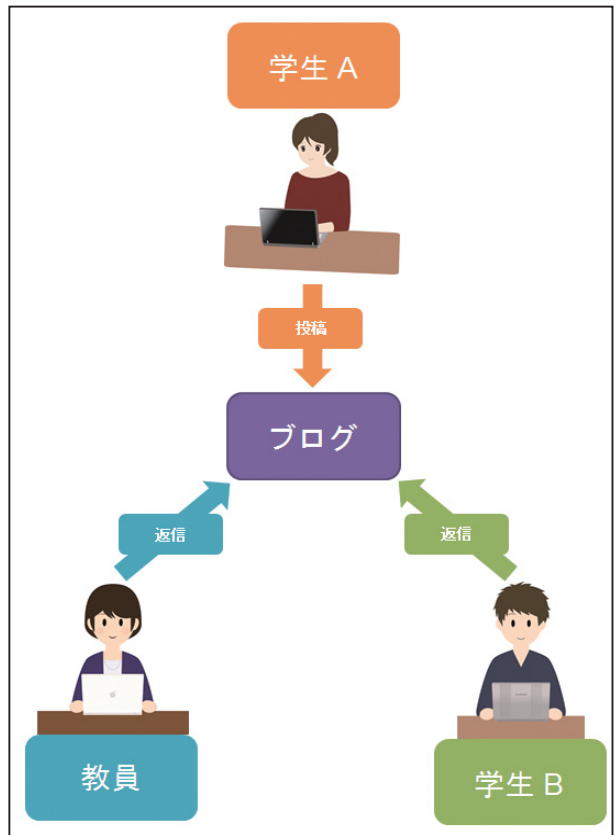


図10. ブログ (イメージ)

## ◆ 日誌

Bbにおける日誌は、日誌を作成した教員と学生が一对一で文書をやり取りすることができる機能です。

授業後の感想やミニレポートなど、学生と一对一のコミュニケーションをとる場合などに便利なツールです。また、学生一人ひとりの学習記録としても活用することができます。



図11. 日誌

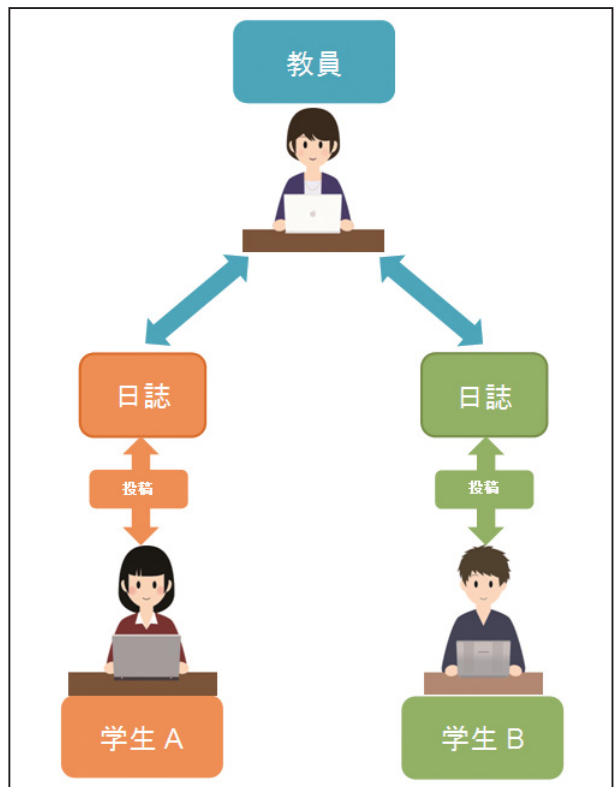


図12. 日誌 (イメージ)

### ◆ Wiki

Wiki は一つの事象に対して、特定もしくは不特定多数の人間が自由に編集・更新ができるツールです。

Bb における Wiki はこのような一般的な Wiki と同様に、コースの受講者が一つの事象に対して自由に編集・更新を行うことができ、グループ学習等に活用できます。

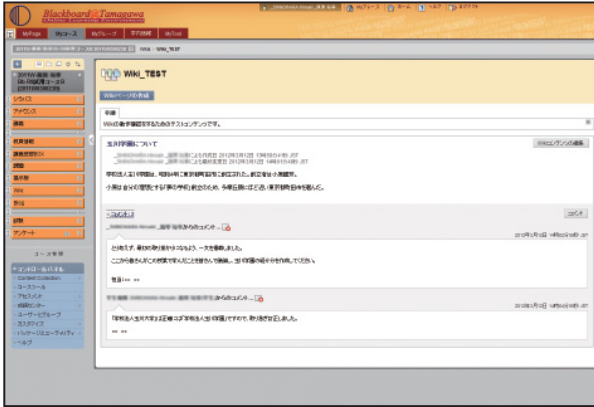


図 13. Wiki

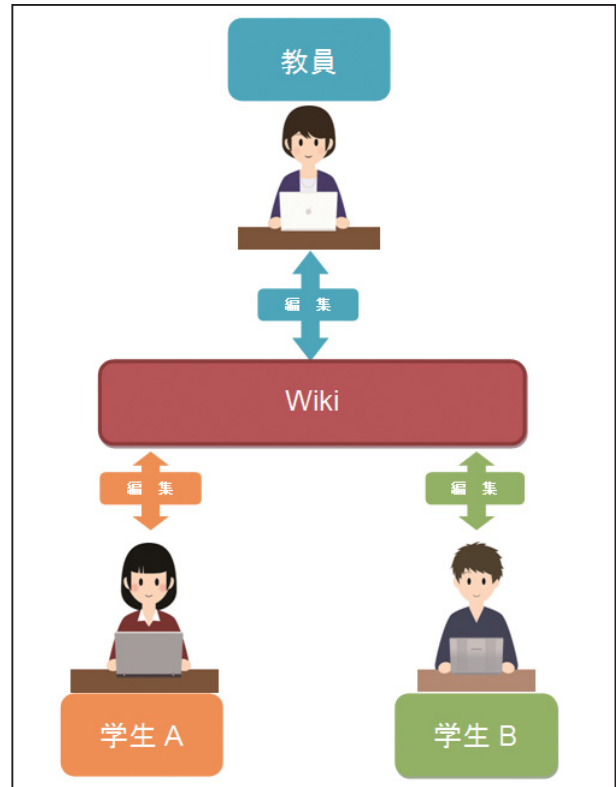


図 14. Wiki (イメージ)

### ◆ 外部コンテンツの利用 (マッシュアップ機能)

YouTube や SlideShare など、外部コンテンツを利用して、動画やプレゼンテーションをコース内に設定することができます。

※ YouTube は動画共有サイトです。

※ SlideShare とはプレゼンテーションスライドの共有サイトで、登録されているあらゆるプレゼンテーションスライドをダウンロードし、使用することができます。



図 15. YouTube 使用例

## 06

# 削除される機能について

### ◆ デジタルドロップボックス

・次期バージョン移行に伴い、現行バージョンの「デジタルドロップボックス」機能が削除されます。

デジタルドロップボックスの機能は「課題」または「日誌」機能で代用できます。

ただし、用途・目的に応じて代用できる機能が異なりますので、eエデュケーションセンターまでご相談下さい。



図 16. デジタルドロップボックス

## 検証教員からのフィードバック

各機能の動作検証のため、一部の先生にご協力いただき、次期バージョンのBbを使用させていただきました。主な意見は以下の通りです。

### ◆ 操作感・仕様

- ・操作におけるレスポンス状況は問題なかった。
- ・ドラッグ&ドロップの操作感が良い。
- ・コントロールパネルの場所が変更になったが、直感的に操作ができています。
- ・Bb8よりも使いやすい。
- ・Macで対応するブラウザが増えたのがよい。

### ◆ コンテンツの掲載

- ・掲載資料のアップロードの操作は、ストレス・違和感なく快適に行えた。
- ・複数のファイルが一度にアップロードしやすくなった。

### ◆ 既存の機能

- ・アンケートの操作方法が分かりやすくなった。結果をCSVで出せるのが便利。
- ・BBS（ディスカッションボード）について
  - 学生にレポートを投稿させ、学生同士で改善点を話し合わせた。
  - BBSに投稿させた内容よりも良いレポートを完成させた学生が多かった。

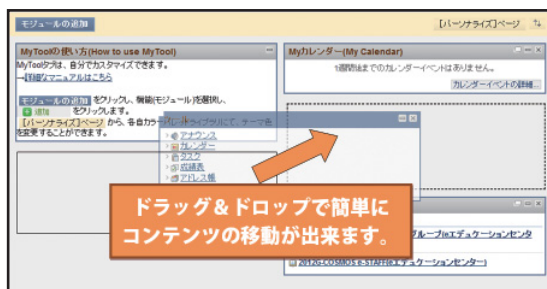


図 17. ドラッグ&ドロップ使用例

### ◆ 新機能

#### ・ 日誌について

—毎回の授業をまとめさせた。

教員が内容を確認できるため、アドバイスや修正点をコメントで指摘したり、良い意見はBBS（他の学生にも公開）に書き込むよう促した。

教員がチェックしていることで学生もやる気が出たようである。



図 18. 日誌・Blog 使用例

#### ・ コース内グループについて

—現行バージョンでもある機能だが、よりグループ設定が容易に出来るようになった。

また、グループで出来る機能も増えているため困惑することもあるが、学生とのコミュニケーションが取りやすくなっている。

### ◆ 学生の感想

- ・今までのBbと使い方があまり変わらなかった。
  - ・初めての機能が多く少し戸惑った。ブログ、Wikiなどの新機能は使い方がしっかり分かっていたらとても便利だと思う。
  - ・項目のアイコンが大きくて、目が疲れてしまった。
  - ・アンケートの提出やディスカッションボード（BBS）など離れていても情報共有ができ良かった。
- ※ 学生からの感想はeエデュケーションセンターで回収した学生アンケートの結果です。

# 08

## サポート

### ◆ 対応システム・ブラウザ

次期バージョンの Bb では、サポート体制が強化され、より多くのシステム、ブラウザでの動作が可能になりました。(平成 24 年 5 月 1 日現在)

表 1. 対応システム・ブラウザ一覧表 (Windows)

Windows	Internet Explorer9	Internet Explorer8	Firefox	Firefox3.6	Chrome
XP(32bit)	×	○	○	○	○
Vista(32bit)	◎	○	◎	○	○
Vista(64bit)	○	○	○	○	○
7(32bit)	◎	○	◎	○	◎
7(64bit)	○	○	○	○	○

表 2. 対応システム・ブラウザ一覧表 (Macintosh)

Mac OSX	Safari 5.1	Safari 5.0	Safari 4.0	Firefox	Firefox3.6	Chrome
10.5 "Leopard"	×	○	○	○	○	○
10.6 "Snow Leopard"	○	◎	○	◎	○	◎
10.7 "Lion"	○	×	×	○	○	○

◎完全にサポートされている環境 ○主要な機能のみテストされている環境 ×サポート対象外

### ◆ サポートについて

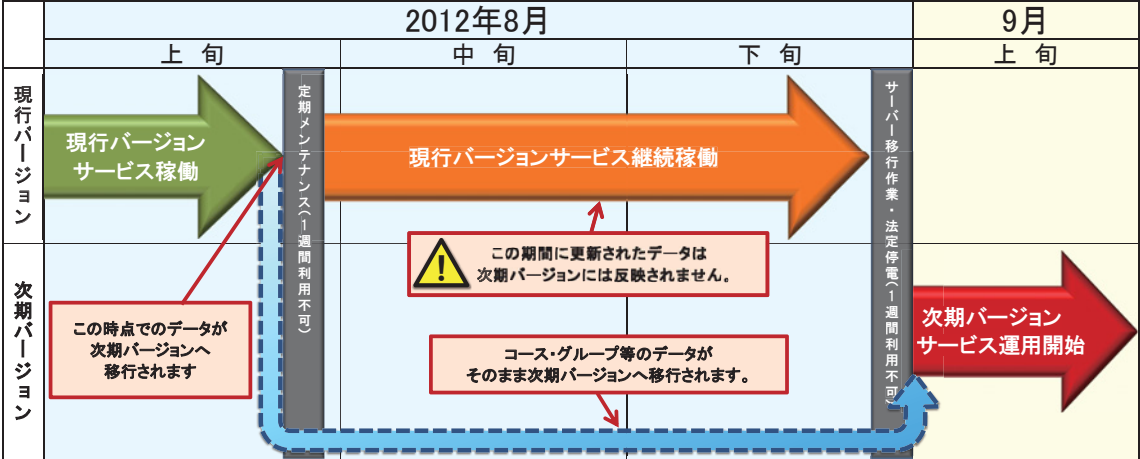
次期バージョンに関する最新情報等に関しましては、試用コース「My グループ」内の「2012G-Bb R9 教員用検証グループ (e エデュケーションセンター)」に掲載いたします。

また、次期バージョンの各機能、および操作手順の確認は、同じく試用コース「MyPage」内の「Bb 教員向けマニュアル・お知らせ」の「教員向けマニュアル」をご参照ください。

# 09

## 今後のスケジュール

表 3. 次期バージョン移行スケジュール



### ◆ その他

- ・ 教員試用コース提供：6 月初旬を予定
- ・ 教員向け操作説明：6 月より随時対応
- ・ 次期バージョン運用開始後、現行バージョンのコース・グループ等を確認したい場合は、下記 URL よりご確認いただけます。

<http://bb-oldv.tamagawa.ac.jp>

※上記スケジュールに関する詳細は、後日改めてメールにてご連絡いたします。

# Blackboard@Tamagawa 2011年度 授業のコース統計

2011年度 Blackboard@Tamagawa の活用率とコース統計結果をご報告します。2011年度春学期、秋学期を通しての Bb コース活用率は 54.1%、専任教員の活用率は 78.3%、学生の活用率は 99.0% となりました。

2011年度で活用率が高かったのは経営学部、リベラルアーツ学部、文学部です。

授業期間が短縮された影響により、春学期の Bb コース活用率は 55.9% と前年度の 48.1% より大幅に増えました。また、教員の活用率も専任・非常勤ともに、5% 以上増加する結果となりました。

Blackboard@Tamagawa 活用推移 (大学全体)

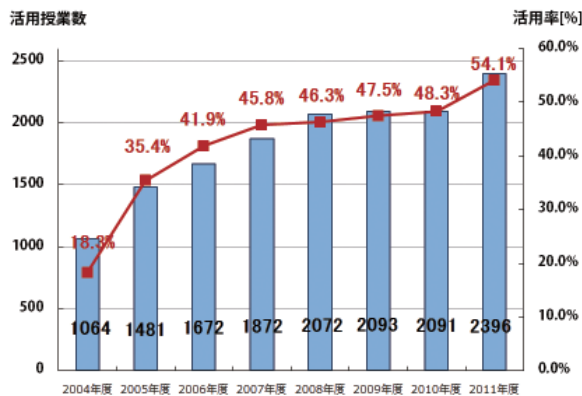


図 19. 授業における Blackboard @ Tamagawa 活用状況

- ①授業数：正式に登録され、開講された授業コード数
- ②活用数：①の授業のうち、Bb を活用した授業コード数
- ③活用率：授業のうち、Bb を活用している割合 (=②÷①× 100)

表 4.Blackboard@Tamagawa 活用推移 (年度単位)

学部	2004		2005		2006		2007		2008		2009		2010		2011	
	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率
文学部	224	24.1%	381	42.6%	423	51.5%	434	57.5%	427	61.8%	319	64.2%	265	64.8%	292	69.9%
農学部	20	5.0%	75	19.0%	138	30.4%	143	40.3%	135	38.3%	155	48.3%	169	49.5%	180	46.5%
工学部	48	8.4%	155	27.7%	258	41.0%	255	46.9%	191	39.9%	207	39.8%	203	40.8%	219	45.3%
経営学部	481	93.0%	449	99.6%	425	97.6%	299	69.9%	378	72.6%	377	77.3%	385	76.3%	396	78.4%
教育学部	59	11.1%	93	17.7%	111	21.0%	160	32.5%	169	30.2%	195	30.6%	226	34.1%	251	38.1%
芸術学部	35	3.4%	79	18.1%	102	24.1%	157	27.9%	153	29.9%	174	34.7%	187	31.5%	267	43.1%
リベラルアーツ学部							87	79.8%	156	74.9%	222	71.6%	242	71.1%	289	75.9%
コア	40	11.0%	91	25.6%	130	33.0%	187	49.3%	185	48.7%	170	45.5%	183	50.3%	228	60.4%
教職関連科目	0	0.0%	7	20.0%	11	22.4%	14	35.1%	14	40.0%	13	31.7%	15	36.6%	14	35.9%
総計	907	18.3%	1330	35.4%	1598	41.9%	1736	45.8%	1808	46.3%	1832	47.5%	1875	48.3%	2136	54.1%

- (注) ①コース数：教室での対面授業を 1 コースとして、授業コード区別 (各学部、コア / 教職共通科目) に集計。  
 ②受講者のべ数、教員実数：利用者を所属学部別に集計。  
 ③活用率 (%)：各学部開講授業コードを元に集計。(図. 注釈参照)  
 ④コース数と活用率の違い：コース数は、Bb 利用対面授業数を把握する目的で集計。  
 活用率は、全授業中の活用の割合を把握するため、授業コードを元に集計。

## 編集後記

いよいよ 6 月になり、Bb の新しいバージョンを運用する環境が整います。従来よりも向上した機能・使い勝手をぜひ使用コースでご確認いただき、より有用な教育ツールとしてご活用いただければと思います。

e エデュケーションセンターとしましても、これまで以上にサポートを充実させていきますので、よろしくお願いたします。

e-Education NewsLetter 2012 Vol.1

2012 年 6 月発行

玉川大学

e エデュケーションセンター

東京都町田市玉川学園 6-1-1

Tel : 042-739-8820

Fax : 042-739-8825

e メール : bbhelp@tamagawa.ac.jp